



湖東 だより 第10号



心臓血管センター
湖東記念病院

ご挨拶

副院長

馬渕 博



大暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。1977年9月16日、ドイツ人であるAndreas Gruentzigが、スイスのチューリヒの病院で、覚醒下における人類初のバルーンカテーテルによる経皮的冠動脈形成術に成功しました。わが国では、1981年に初めて実施されました。以来、経皮的冠動脈形成術はバルーン以外の様々な形成術が登場して、カテーテルインターベンションと呼ばれるようになり、多くのカテーテルインターベンショナリストの絶え間ない工夫と努力の積み重ねにより、より歴史の古い冠動脈バイパス術と双璧となる治療法として確立されてきました。何と言いましても冠動脈バイパス術よりも低侵襲であるのが大きな魅力であります。その後、ステント治療の導入により、バルーンによる治療では困難であった冠動脈解離による急性冠閉塞や再狭窄の抑制に有効であることが示され、近年の薬剤溶出性ステントの登場後は、再狭窄も激減したのです。一時期は、これをもって治療完了との認識もありましたが、長期の抗血小板剤二剤併用、遅発性ステント血栓症、予後改善効果などにおいて、最良最善の治療と言い切ることは出来ておりません。このため、欧州で使用が始まった生体吸収ステントなどには大いに期待したいところです。カテーテルインターベンションだけでなく他の分野の日進月歩の治療を施設全体としてしっかりと認識し、皆様方に御提供出来るよう、全力を尽くす所存でございますので、なお一層の皆様の御指導御鞭撻を宜しくお願い申し上げます。暑さ厳しき折り、皆様のご健康をお祈りいたします。

第3回 市民公開講座を終えて

心臓血管センター長

武田 輝規



去る平成25年5月26日、今年で第3回目となる市民公開講座「心臓病で命を落とさないために 一足の痛み・しびれ・冷えー それって整形外科？循環器科？」が開催されました。市民公開講座には年々参加して下さる方が増え、今年はなんと500人を超える市民の方々に御参加いただきました。

基調講演の一つ目は、私が「動脈硬化の早期発見と対処法」という題目で、動脈硬化、全身血管病の概念、狭心症などについてお話しさせていただきました。二つ目は昨年に引き続いて京都大学附属病院より田崎淳一先生をお招きして、「歩いて足のだるさを感じたら」という題目で閉塞性動脈硬化症の早期発見や最新のステント治療のお話しをしていただきました。

そして特別講演として、日野記念病院 脊椎センター長 高橋忍先生に「腰からくる足の痛みとしびれ」という題目で、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなどの整形外科的疾患からくる症状の特徴や検査、治療に至るまでをお話し頂き、我々を含め病院スタッフも大いに勉強することができました。

そして最後は、昨年に引き続いて俳優 田中健さんのケーナ演奏や歌、そして楽しいお話しなどで締めくくることができました。会場の外では、AED講習会、血圧測定会、ポスター展示などをさせていただき、また講演内容に合わせてABI測

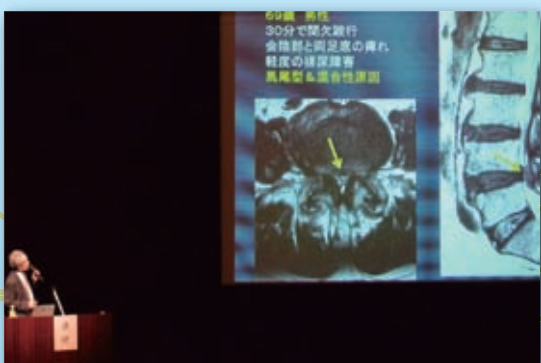
定体験も実施させて頂き、大盛況のうちに幕を閉じました。

このような会を通していつも感じることは、市民の皆さんの健康に対する関心の高さ、食欲さであります。現時点で病院通院が必要な持病がない方であっても、病気を未然に防ぐための知識や、病気を早期発見・対処すること、心の健康を保っていくことの必要性、重要性を再確認できた市民公開講座であったように思います。

このような会を通じて地域の皆様からより信頼される病院となりますようスタッフ一同、また気を引き締めてやっていきたいと思っております。

お困りのことがございましたらどうぞ御遠慮なく御相談下さい。

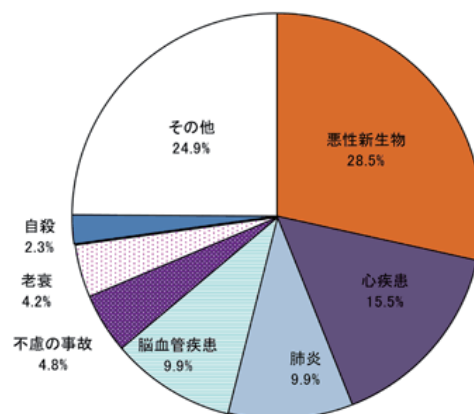
今後とも何卒宜しくお願いいたします。



人間ドックのご案内

現在、日本人の死因をみると、3人のうち2人が「がん」「心臓病」「脳卒中」などの生活習慣病で亡くなっています。

主な死因別死亡数の割合(平成23年)



資料: 厚生労働省平成23年
人口動態統計月報年計(概数)

これらの病気は、長い年月をかけて徐々に進行してきたものがほとんどで、偏った食生活・運動不足・酒の飲みすぎ・タバコの吸いすぎ・不規則な生活など、今の生活習慣が蓄積された結果、生活習慣病を発症させます。

生活習慣病にかからないためには、自分自身の生活を見直し、健康的な生活習慣を築くこと(一次予防)が大事ですが、生活習慣病の多くはすでに症状が現れたときには、簡単に治療できないくらい進行している可能性が高いので、多くの検査項目を詳しく調べる人間ドックのような健康診断を受けることが大切です。また、そのような健康診断を定期的に受診することにより、自覚症状がない時期に異常を発見して、治療をすることが生活習慣病の予防には何よりも効果的です。当院の人間ドックには、企業の方や個人の方のご希望に応じて4つのコースを設けております。また、オプション検査もご用意しております。



コース	内 容
人間ドック	胸部X線検査、心電図検査、胃内視鏡検査、腹部超音波検査、血液検査などを行う一般的な人間ドックのコースです。
脳ドック	脳卒中検査（頭部MRI・MRA）、頸動脈超音波検査、動脈硬化検査などを行うコースです。
人間ドック＋脳ドック	人間ドックと脳ドックを合わせたコースです。詳しい検査をご希望の方にお勧めします。
消化器ドック	胃内視鏡検査、血液検査（消化器系腫瘍マーカー）などで上部消化器系の検査を主に行うコースです。

（詳しくは病院ホームページをご覧くださいか、人間ドック担当者までお問い合わせください。）

■循環器科外来担当表

		月	火	水	木	金	土
循環器科	午前	武田	馬 淵	村 上院長 (一般内科・循環器科)	前 田	村 上院長 (一般内科・循環器科)	非常勤 (1,2,5週) 田 崎 (3週) 西 賀 (4週)
		坂 口					
		大 江	只 野	山 路	前 中	武 田	
	午後	前 田		坂 口		馬 淵	
不整脈科	午前			静 田 (2週)予約制			静 田 (4週)予約制
	午後			静 田 (2週)予約制			

〈午前診〉受付 7:30～11:30 診察 9:00～12:00

H25.7.1改訂

〈午後診〉受付 13:00～15:00 診察 13:30～15:30

※月2回 京都大学医学部附属病院 不整脈科 静田先生が来院されます。

※ペースメーカー外来 毎月第3金曜日 午後〈予約制〉

■循環器科外来について

平素は格別のご高配を賜り、又患者様をご紹介いただき厚く御礼申し上げます。

さて、当院の循環器科外来についてご紹介させていただきます。循環器科外来につきましては村上(院長)・非常勤医師を除きまして、原則予約制となりますが、先生方よりご連絡をいただいた際には、その医師が責任をもって診察させていただきます。

地域医療機関との連携と患者サービスの向上に努めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

ご質問等がございましたら、お気軽に地域連携室までお問い合わせください。

地域連携室



■ご案内

○電車でお越しの方

JR能登川駅よりタクシーで20分、バスで25分

(市ヶ原〔角能線〕行き・湖東記念病院前下車)

近江鉄道八日市駅よりタクシーで20分、バスで25分

(僧坊〔湖東線〕行き・湖東記念病院前下車)

○車でお越しの方

名神高速道路 八日市インター より15分

駐車場：150台

料 金：無料

※駐車場内での事故、盗難、破損等につきましては病院側では一切責任を負いませんのでご了承ください。

心臓血管センター 湖東記念病院

地域連携室 TEL. 0749-45-4512
FAX. 0749-45-3335

ホームページアドレス
URL <http://www.subarukai.jp/>

〒527-0134 滋賀県東近江市平松町2番地1
TEL. 0749-45-5000 FAX. 0749-45-5001